

これから5年後の星峯西小学校の未来予想図

2022年10月31日

校長 谷口源太郎

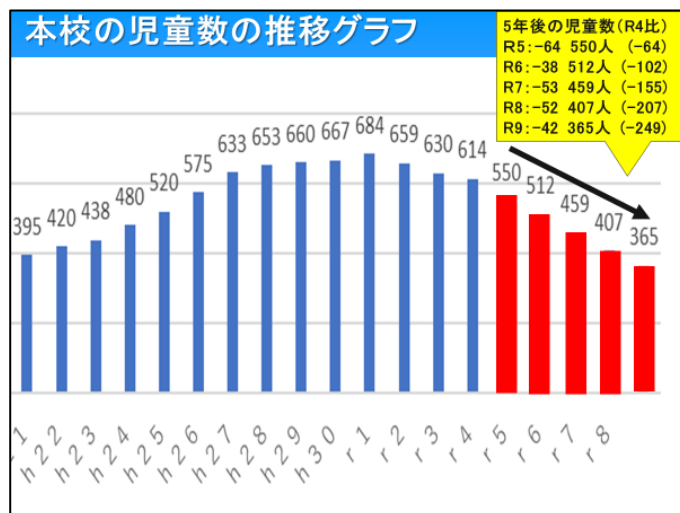
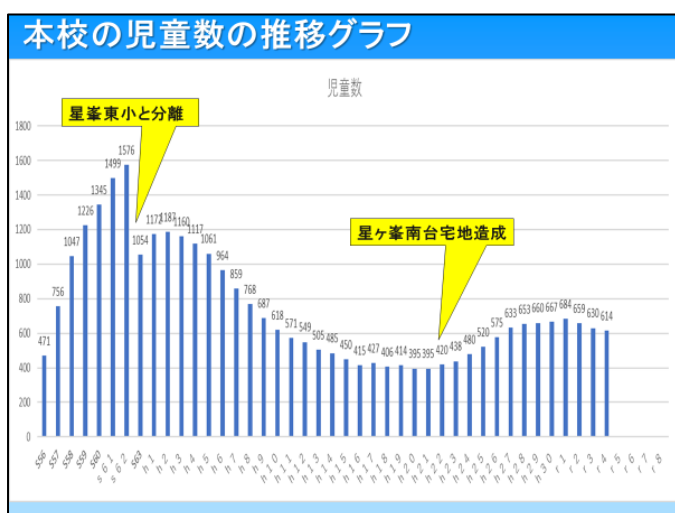
これから5年後の星峯西小学校の未来予想図

先日、来年度入学予定者数について市教育委員会から連絡がありました。61名とのこと。現在の6年生が122名です。6年生が120名卒業して60名入学してくるということで、来年度は60名減ということが分かっています。

さらに、これから先、本校の児童数はどのように変わっていくか調べてみたところ、驚きの数値が出てきました。

【開校からの児童数の推移グラフ】

【令和4年から令和9年度の児童数推移グラフ】



児童数をグラフ化すると5年間で約250人減ということが明らかにりました。中規模といわれる学校が消えるほどの人数に当たります。

今、正に本校には少子化の波が迫っているのです。しかも急激な減少波です。開校以来、最少人数の児童数 365 人になることがグラフから分かります。

急激な児童数の減少に伴って学校、家庭ではどのようなことが想定できるでしょうか？

【5 年後に想定されること】

- ・ 児童数 612 名→365 名
- ・ 学級数が現在 1 学年 3 クラス→5 年後は学年 2 クラスずつになる。
- ・ 教職員の数が減っていく。
- ・ PTA 世帯数が減少していく。
- ・ 児童数の減少に伴って配分される市からの配分予算が減っていく。
- ・ PTA 会員数の減少に伴って PTA 予算も減少していく。

など人の減少とともに予算も減っていきます。

これらのことを踏まえて今、私たちは何を準備しておくべきでしょうか？

私たちは、この現実を直視するとともに、しっかりと認識した上で、今何をやるべきなのかを判断する、考える必要があると思います。

今普通に取り組んでいることは、5 年後も可能なことなのかどうかを判断する必要があります。

私は、2つのキーワード「不易流行」「持続可能性」で考える必要があると思います。

「不易流行」・・・将来を見据えて、変えいけないことと変えるべきことを判断する

「持続可能性」・・・今取り組んでいることは将来的にも持続できることなのか

教職員も保護者もこのことを認識して、今やるべきこと、準備すべきことは何かを明らかにして取り掛からなければなりません。